

レポートでは「自分なりに調べたこと、考えたことを主張することが大切です。(中略)その「主張」が正しい理由、すなわち「根拠」が示されていてはじめて、レポートは評価されます<sup>1)</sup>。図書や雑誌論文などの根拠を示すと主張に説得力が加わります。**本文の最後には書く際に引用したり参考にした資料の情報をつけましょう。**その情報を「引用・参考文献(参考情報)」と呼びます。引用・参考文献に書かずに引用した場合は盗用となり著作権法に違反します。

**【著作権とは】**

著作権とは、他の人の真似でなく自分で考えて表現したもの(言葉・絵・形・音楽など)に対して発生する作製者の権利です。特にインターネット上のイラストやデータ、音楽などを利用する場合は著作権がどうなっているか確認してから使用しましょう。

**【引用を行う時の注意】**

- 引用の際はその部分が他の人の文章であることが区別できるように「    」で括ったり、段落を分けたりします。
- 掲載されていた通りそのままを記載します。
- 引用の範囲は最低限にとどめましょう。
- 引用の引用(孫引き。「◆◆によると～」と書いてある部分をそのまま自分のレポートに書くこと)は禁止です。参考にした図書の参考情報から、大元となる文章を探してその資料を読んでから引用します。

**【引用・参考文献の書き方】**

先生や投稿先などから指定されている場合はそのスタイルを使用します。指定されていない場合は下記の代表的なスタイルを使用するとよいでしょう。図書、雑誌論文、新聞記事、web ページの引用・参考文献の書き方を記載しています。図書の一部や SNS など他の資料の書き方を知りたい場合は最後に挙げた引用・参考文献の図書を参照しましょう。同じレポート内では 1 つのスタイルのみを使用します。また、図書館で契約している文献管理ソフト「RefWorks」は各スタイルに沿って引用・参考文献を自動生成するので便利です。

**①括弧方式**

「」や『』を使った引用・参考文献の記載法で様々な書き方があります。ここでは一例として小笠原の図書<sup>2)</sup>に記載の引用・参考文献の書き方を挙げます。引用・参考文献は一連番号の順に並べます。もし同じ図書の違うページを引用した場合は別の番号を付与し「同上(洋書では Ibid.) 引用ページ」や「著者の姓、前掲書(or 前掲論文(洋書では op. cit))、年、引用ページ」と記載し書名や出版者名を省略します。また、ページの記載は引用文献と参考文献とで異なり、引用文献の場合は引用箇所のページ、参考文献なら全体のページ数を記載します。

本文中引用	一連番号を記載
例) Alexander は… <sup>1)</sup> 。	※一連番号は 1)、1、(1) など、どの表記でもよい
図書	和：著者名(翻訳者名)『書名』、出版者名、出版年、引用(または全体)ページ、シリーズ名。 洋：著者名、書名(斜体)、出版者名、出版年、引用(または全体)ページ。
例) 高谷修『看護学生のためのレポート・論文の書き方 第6版』、金芳堂、2017、p. 193。 例) Arnheim, R., <i>Visual thinking</i> . University of California Press, 1969, p. 17-18.	
雑誌論文	和：著者名「論文(記事)名」、『雑誌名』、(特集名)、巻・号、発行年、引用ページ。 洋：著者名、論文(記事)名、雑誌名(斜体)、巻、号、発行年、引用ページ。 ※同じ雑誌名が複数ある場合は雑誌名の前に出版者名が必要。月刊雑誌は発行月入れる。
例) 深澤のぞみ, 濱田美和「書けない悩みをズバっと解消! レポートの書き方入門」『クリニカルスタデ	

イ』、vol. 39, no. 8, 2018, p. 657-665. 例) Hortin, J.A., A confluence of theories of for visual literacy theory development. <i>Reading Improvement</i> , Vol.18, No.3, 1981, p. 194-209.	
新聞記事	「記事テーマ」『新聞名』記事分類 発行年/月/日/曜日・朝夕刊の別 版数(ページ): 引用段
例) 「ニッポン英語のいま 3 バック・トゥ・ザ・文法と読解」『朝日新聞』解説2019/12/04水曜・夕刊, p. 5.	
Web 情報	著者名(発行年月) 『Web ページ名(または Web に掲載されている報告書名)』 URL, (最終閲覧日)
例) 文部科学省(2007. 6) 『がん教育推進のための教材(平成 29 年 6 月一部改訂)』. <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/_icsFiles/afieldfile/2017/07/13/1369992_1.pdf">https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/_icsFiles/afieldfile/2017/07/13/1369992_1.pdf</a> , (2020 年 6 月 3 日取得).	

### ②APA style<sup>3)</sup>

米国心理学会のスタイル。心理学や看護学などさまざまな分野で使用。引用・参考文献は著者名アルファベット順に並べます。尚、書名や雑誌名等は本来の APA であれば斜体で記載のルールですが前田、江藤<sup>4)</sup>は日本語論文の文献リストで挙げる書名や雑誌名は斜体を使わずに記載することを勧めています。下記の例では和書は斜体を使わない例、洋書は原則通りに斜体を使う例を記載しています。

本文中引用	引用箇所後に(著者名, 発行年)を記載、または「著者(発行年)は・・・」と記載
例) 引用箇所後に(Alexander, 2018)と記載。または文中に Alexander(2018)・・・等と記載。	
図書	著者名. (出版年). 書名(版表示). 出版者.
例) 高谷修. (2017). 看護学生のためのレポート・論文の書き方(第 6 版). 金芳堂. 例) Arnheim, R. (1969). <i>Visual thinking</i> . University of California Press.	
雑誌論文	著者名. (出版年). 論文(記事)名. 雑誌名, 巻(号), はじめのページ-おわりのページ.
例) 深澤のぞみ, 濱田美和. (2018). 書けない悩みをズバッと解消! レポートの書き方入門. <i>クリニカルスタディ</i> , 39(8), 657-665. 例) Hortin J. A. (1981). A confluence of theories of for visual literacy theory development. <i>Reading Improvement</i> , 18(3), 194-209.	
新聞記事	著者名. (発行年月日). 記事タイトル. 新聞名. URL またはページ
例) 刀祢館正明. (2019, 12 月 4 日). ニッポン英語のいま 3 バック・トゥ・ザ・文法と読解. 朝日新聞. 夕刊 5.	
Web 情報	著者名. (出版年月). ページ名. サイト名. URL. (最終閲覧日) ※最終閲覧日は原則、提示 URL にアクセスできない場合等に記載する項目だがレポートなどでは記載するよう指示されることが多いため入れてある
例) 文部科学省. (2017). がん教育推進のための教材(平成 29 年 6 月一部改訂). 文部科学省. <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/_icsFiles/afieldfile/2017/07/13/1369992_1.pdf">https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/_icsFiles/afieldfile/2017/07/13/1369992_1.pdf</a> (閲覧日 2020 年 6 月 3 日)	

### ③MLA<sup>5)</sup>

米国現代語学文学協会のスタイル。言語学や文学などで使用。引用・参考文献は著者のラストネーム(姓)アルファベット順に並べます。和書・日本語論文の例が原書にあまり掲載されていないため Yale University Library で公開している例なども参考になります<sup>6)</sup>。

本文中引用	引用箇所後に(著者名 引用箇所のページ番号)
例) (Alexander, 453)	
図書	和: 著者名(英語). 日本語書名(英訳書名(斜体)). 版表示, 出版者, 出版年. 洋: 著者名. 書名(斜体). 版表示, 出版者, 出版年.
例) Takaya, Osamu. 看護学生のためのレポート・論文の書き方 第 6 版( <i>How to write reports and papers for nursing students</i> . 6th ed.), Kimmodo, 2017.	

例) Arnheim, Rudolf., <i>Visual thinking</i> . University of California Press, 1969, pp. 17-18.	
雑誌論文	和：著者名(英語)。“日本語論文(記事)名”(英訳論文(記事名))。雑誌名(斜体), 巻数, 号数, 出版年, はじめのページ-おわりのページ。 洋：著者名。“論文(記事)名”。雑誌名(斜体), 巻数, 号数, 出版年, はじめのページ-おわりのページ。
例) Fukasawa, Nozomi, and Hamada Miwa. “書けない悩みをズバッと解消! レポートの書き方入門”(Solve the worries you can't write! How to write reports). <i>Clinical Study</i> , vol. 39, no. 8, 2018, pp.657-65.	
例) Hortin, John.A.“A confluence of theories of for visual literacy theory development” <i>Reading Improvement</i> , vol. 18, no. 3, 1981, pp.194-209.	
新聞記事	著者名。“記事タイトル”。新聞名(斜体), 発行年月日, URL またはページ。
例) Tonedachi, Masaaki. “ニッポン英語のいま 3 バック・トゥ・ザ・文法と読解”(English in Japan Now 3, Back to the <i>Grammar and Reading</i> ). <i>Asahi-Shimbun</i> , 2019,12-4, 夕刊 p. 5.	
Web 情報	著者名。ページ名(斜体)。出版年月, URL, (最終閲覧日) ※最終閲覧日は原則、出版年記載なしの場合や提示 URL にアクセスできない場合に記載だがレポートなどでは記載するよう指示されることが多いため入れてある
例) Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology. “がん教育推進のための教材(平成 29 年 6 月一部改訂)” ( <i>Textbook for Promoting Cancer Education(Partially revised in June, 2017)</i> ), <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/_icsFiles/afieldfile/2017/07/13/1369992_1.pdf">https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/_icsFiles/afieldfile/2017/07/13/1369992_1.pdf</a> , (3 Jun. 2020)	

#### ④SIST<sup>7)</sup>

日本の科学技術振興機構が定めたスタイル。引用・参考文献は一連番号順、または著者名順に並べます。

本文中引用	一連番号または著者名を記載 <sup>8)</sup>
例) Alexander は… <sup>1)</sup> 。または文中に Alexander は・・・と記載。	
図書	著者名(編者名)。書名。版表示, 出版者, 出版年, 総ページ数, (シリーズ名, シリーズ番号)。
例) 高谷修. 看護学生のためのレポート・論文の書き方. 第 6 版, 金芳堂, 2017, 193 p.	
例) Arnheim, R. <i>Visual thinking</i> . University of California Press, 1969, 345 p.	
雑誌論文	著者名。論文(記事)名。雑誌名。出版年, 巻数, 号数, はじめのページ-おわりのページ。
例) 深澤のぞみ, 濱田美和. 書けない悩みをズバッと解消! レポートの書き方入門. <i>クリニカルスタディ</i> . 2018, vol. 39, no. 8, p. 657-665.	
例) Hortin, John.A. A confluence of theories of for visual literacy theory development. <i>Reading Improvement</i> . 1981, vol. 18, no. 3, p. 194-209.	
新聞記事	著者名。記事タイトル。新聞名。出版年月日, 朝夕刊, 版, 該当ページ。 ※規定されていないが雑誌論文に準じた形式
例) 刀裯館正明. ニッポン英語のいま 3 バック・トゥ・ザ・文法と読解. 朝日新聞. 2019年12月4日, 夕刊, p. 5.	
Web 情報	著者名。“Web ページの題名”。Web サイトの名称。入手先(URL), (入手日付)。 ※著者名はページ下にある「©」または「Copyright(c)」などに書かれている人名や日付など。
例) 文部科学省. “がん教育推進のための教材(平成 29 年 6 月一部改訂)”。 <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/_icsFiles/afieldfile/2017/07/13/1369992_1.pdf">https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/_icsFiles/afieldfile/2017/07/13/1369992_1.pdf</a> , (参照 2020-06-03)。	

#### 引用・参考文献 (下記は SIST で記載)

- 1) 世界思想社編集部編. 大学生学びのハンドブック : 勉強法がよくわかる!. 5 訂版, 世界思想社, 2021, 127 p.
- 2) 小笠原喜康著. 大学生のためのレポート・論文術. 最新版, 講談社, 2018, 234 p. (講談社現代新書, 2498).

- 3) [アメリカ心理学会\(APA\)著. 前田樹海, 江藤裕之訳. APA論文作成マニュアル. 第3版, 医学書院, 2023, 446 p.](#)
- 4) [前田樹海, 江藤裕之. APAに学ぶ看護系論文執筆のルール. 第2版, 医学書院, 2023, 120 p.](#)
- 5) [Modern Language Association of America. MLA handbook. 9th ed, Modern Language Association of America, 2021, 367 p.](#)
- 6) Yale University Library. “Quick Guide on Citation Style for Chinese, Japanese and Korean Sources : MLA Example”.  
<https://guides.library.yale.edu/c.php?g=296262&p=1974230>, (参照2024-04-18)
- 7) 科学技術振興機構. “科学技術情報流通技術基準 参照文献の書き方 SIST02-2007”. 国立国会図書館インターネット資料収集保存事業. <https://warp.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/12003258/jipsti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST02-2007.pdf>(参照 2024-04-18)
- 8) 科学技術振興機構. “科学技術情報流通技術基準 学術論文の執筆と構成 SIST08:2010”. 国立国会図書館インターネット資料収集保存事業. [https://warp.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/12003258/jipsti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST08\\_2010.pdf](https://warp.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/12003258/jipsti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST08_2010.pdf)(参照 2024-04-18)